

古河電工グループ° 2024年度第1四半期決算

2024年8月6日

古河電気工業株式会社

取締役 兼 執行役員 財務本部長 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

24年度Q1決算および24年度通期予想

- 24年度Q1決算のポイント
- 24年度Q1実績-要約P/L
- 24年度Q1実績-売上高の増減要因
- 24年度Q1実績-営業利益の増減要因
- 24年度予想-セグメント別 営業利益
- セグメント別 売上高・営業利益
- 24年度Q1実績-要約B/S
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費

Appendix

24年度Q1決算および24年度通期予想

24年度Q1決算のポイント

■ 前年比で増収増益、概ね想定通りの進捗

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比	
	a	b	b-a	
売上高	2,464	2,736	+271	すべてのセグメントで増収
営業利益	▲ 28	35	+63	サービス・開発等を除くすべてのセグメントで増益
経常利益	▲ 18	71	+89	持分法による投資利益の増加
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 17	47	+64	
銅建値 平均	1,219	1,570	+351	
為替 平均	137	156	+18	

24年度Q1実績-要約P/L

■ 通期予想は据え置き

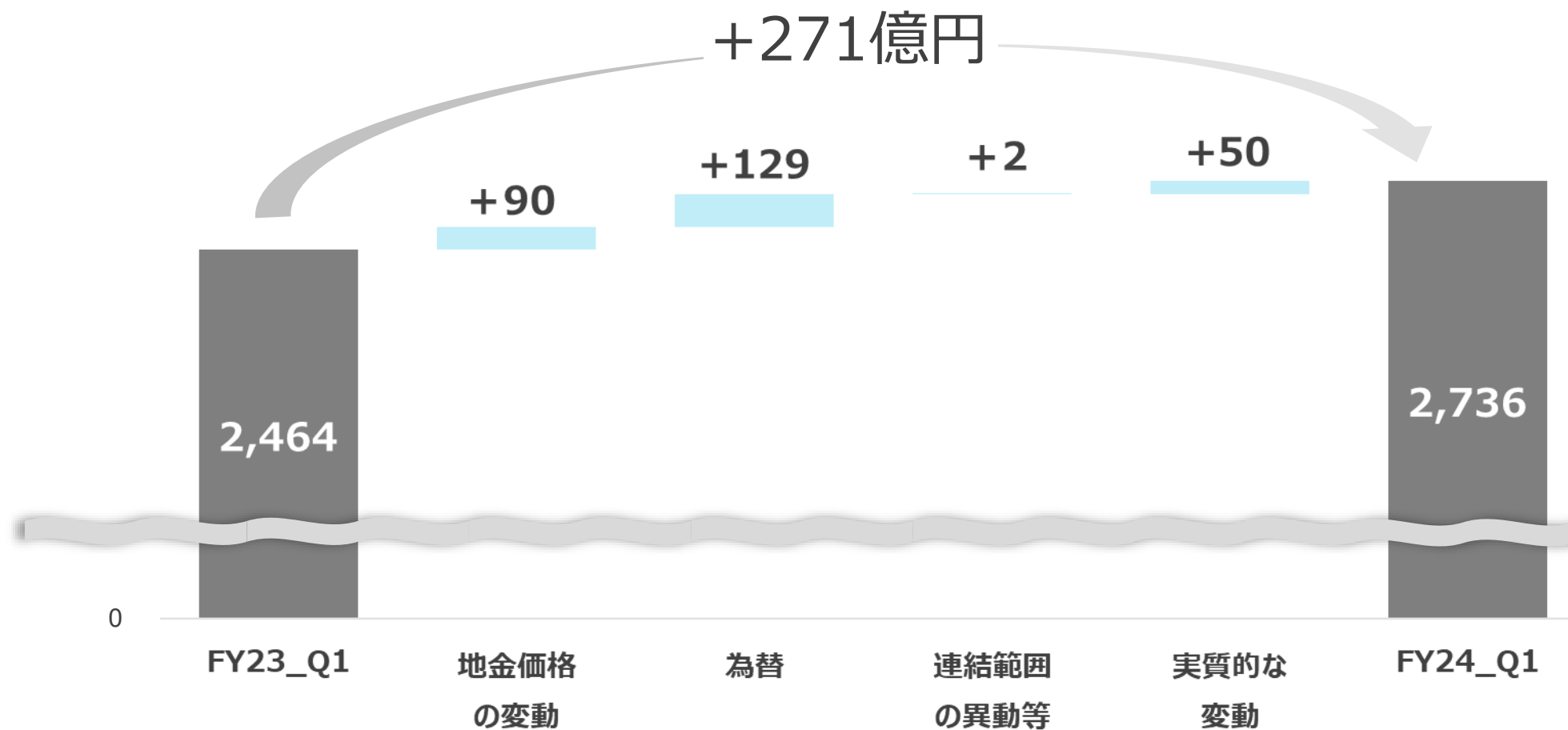
(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比	主な増減内訳 (Q1)
	a	b	b-a	
売上高	2,464	2,736	+271	7ページ参照
営業利益	▲ 28	35	+63	8ページ参照
(率)	▲ 1.1%	1.3%	+2.4	
受取/支払利息	▲ 17	▲ 19	▲ 3	
持分法投資損益	10	45	+35	
為替損益	12	10	▲ 2	
経常利益	▲ 18	71	+89	
(率)	▲ 0.7%	2.6%	+3.3	
特別損益	26	▲ 18	▲ 45	・特別利益：▲40 (48→8)
法人税等	▲ 24	3	+27	・特別損失：▲5 (▲22→▲27)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 1	▲ 8	▲ 7	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 17	47	+64	
(率)	▲ 0.7%	1.7%	+2.4	
銅建値 平均	1,219	1,570	+351	
為替 平均	137	156	+18	

《2024/5/13公表》

FY23	FY24 予想	前年比
c	d	d-c
10,565	10,800	+235
112	250	+138
1.1%	2.3%	+1.3
▲ 74	—	—
63	—	—
▲ 1	—	—
103	205	+102
1.0%	1.9%	+0.9
98	40	▲ 58
▲ 116	—	—
▲ 20	—	—
65	130	+65
0.6%	1.2%	+0.6
1,262	1,155	▲ 107
145	140	▲ 5

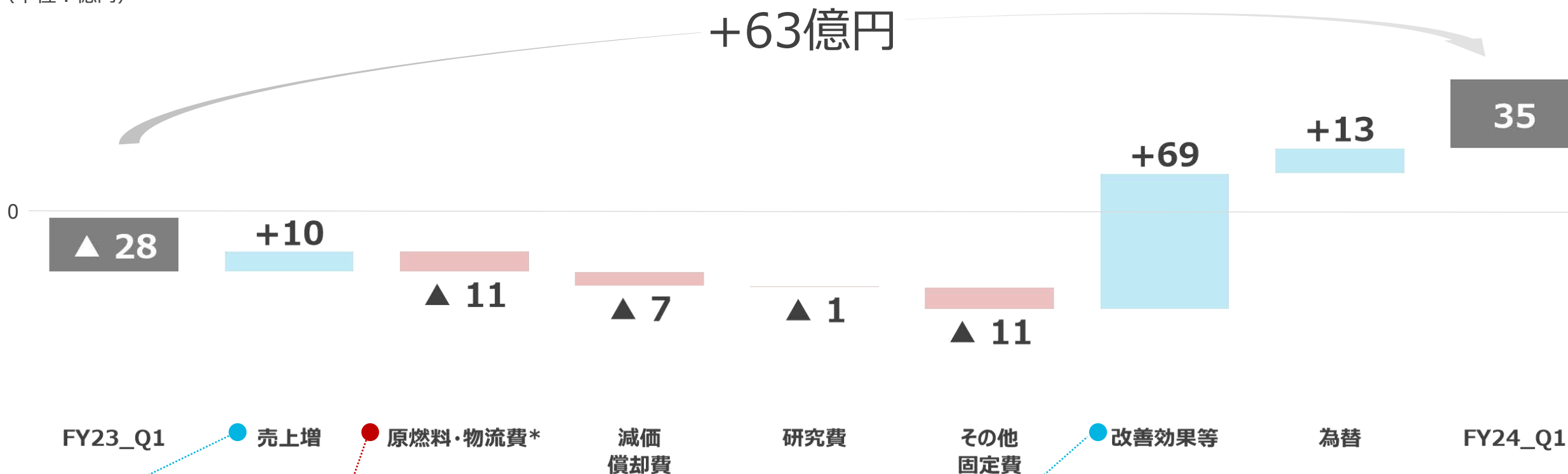
24年度Q1実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



24年度Q1実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



FY23_Q1

売上増

原燃料・物流費*

* 為替影響含む

減価償却費

研究費

その他固定費

改善効果等

為替

FY24_Q1

情報通信S : ▲ 29
 エネルギーインフラ : +20
 自動車部品・電池 : +5
 機能製品 : +14
 その他 : ▲ 2

情報通信S : ▲ 6
 電装エレクトロニクス材料 : ▲ 2
 機能製品 : ▲ 3

情報通信S : 0 (生産性改善等 +10、棚卸資産評価減等 ▲ 10)
 エネルギーインフラ : +10
 自動車部品・電池 : +30
 電装エレクトロニクス材料 : +6
 機能製品 : +17
 その他 : +6

24年度予想-セグメント別 営業利益

■ 通期予想は据え置き

■ 各セグメントの需要回復や生成AI関連需要の伸びを見極めていく

主なセグメントの営業利益

➡ 直前半期比での利益増減イメージ

セグメント	サブセグメント	H1	H2	FY23 a	直前半期比での利益増減イメージ		FY24 予想 b	前年比 b-a	Q1の進捗
					H1 Q1	H2			
インフラ	情報通信ソリューション	▲ 60	▲ 69	▲ 130	➡ ▲ 40	➡	▲ 60	+70	} 想定どおり
	エネルギーインフラ	▲ 26	44	17	➡ 11	➡	35	+18	
電装 エレクトロニクス	自動車部品・電池	23	133	156	➡ 36	➡	165	+9	
	電装エレクトロニクス材料	6	25	31	➡ 5	➡	45	+14	エレクトロニクス市場の回復遅れにより 想定をやや下回る
機能製品		21	34	55	➡ 34	➡	100	+45	生成AI、データセンタ関連需要の好調により 想定を上回る
連結合計 (サービス・開発等、消去等を含む)		▲ 46	158	112	➡ 35	➡	250	+138	

セグメント別 売上高・営業利益

《2024/5/13公表》

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
インフラ	687	688	+1	▲ 32	▲ 29	+3
情報通信ソリューション	468	399	▲ 69	▲ 17	▲ 40	▲ 23
エネルギーインフラ	219	289	+70	▲ 15	11	+26
電装エレクトロニクス	1,497	1,672	+175	2	41	+39
自動車部品・電池	882	941	+60	1	36	+35
電装エレクトロニクス材料	615	731	+116	1	5	+4
機能製品	275	359	+84	7	34	+26
サービス・開発等	65	80	+15	▲ 6	▲ 10	▲ 4
連結消去	▲ 59	▲ 63	▲ 4	1	▲ 1	▲ 2
連結合計	2,464	2,736	+271	▲ 28	35	+63

売上高			営業利益		
FY23	FY24 予想	前年比	FY23	FY24 予想	前年比
e	f	f-e	g	h	h-g
2,782	2,900	+118	▲ 113	▲ 25	+88
1,680	1,750	+70	▲ 130	▲ 60	+70
1,102	1,150	+48	17	35	+18
6,537	6,500	▲ 37	187	210	+23
3,798	3,850	+52	156	165	+9
2,739	2,650	▲ 89	31	45	+14
1,154	1,350	+196	55	100	+45
316	300	▲ 16	▲ 19	▲ 35	▲ 16
▲ 224	▲ 250	▲ 26	1	0	▲ 1
10,565	10,800	+235	112	250	+138

FY24_Q1

減収減益

(単位：億円)

	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	468	399	▲ 69
営業利益	▲ 17	▲ 40	▲ 23

【増減益要因】

(－) テレコム関連の需要減

(＋) データセンタ関連は受注増

事業環境の認識				
	>>	FY24_H1	FY24_H2	>>
ファイバ・ケーブル	需要回復基調	顧客の在庫調整の解消 BEAD*1プログラム等によるケーブル需要増		
光デバイス/ 国内NW 関連製品		データセンタ市場向け需要増		
		下期偏重		
注カポイント				
	<ul style="list-style-type: none"> 汎用品から高付加価値製品・ソリューションへのシフト データセンタ・FTTx*2市場での新規顧客開拓と製販体制強化 			
	ローラブルリボンケーブル	ネットワーキングシステム	ITLA *3・DFB*4	

*1 Broadband Equity Access and Deployment Program

*2 Fiber To The x (光ファイバを用いる通信サービス網の総称)

*3 Integrated Tunable Laser Assemble (回路付き波長可変光源)

*4 Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザ)

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY24_Q1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	219	289	+70
営業利益	▲ 15	11	+26

【増減益要因】

(+) 国内超高压・再エネ関連・機能線の
売上増等

事業環境の認識				
	>>	FY24_H1	FY24_H2	>>
国内超高压	国内更新・再エネ関連需要/工事案件は下期集中			
海底線				
中国国内	需要回復は緩やか			
機能線/部品	堅調な需要			
注力ポイント				
	<ul style="list-style-type: none"> 利益重視の受注と販売価格の適正化 ケーブル製造および工事施工能力の増強 			
	国内超高压・海底線	再エネ関連		
	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング活動の推進による拡販 			
	らくらくアルミケーブル®	送配電部品		

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY24_Q1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	882	941	+60
営業利益	1	36	+35

【増減益要因】

- (+) 安定した受注による生産性の改善
- (+) 売上数量は微増

事業環境の認識				
	>>	FY24_H1	FY24_H2	>>
自動車部品		顧客生産計画は概ね安定 自動車生産台数は微増 アルミハーネス搭載車種の増加		
電池		車載、産業用ともに売上は下期集中		
注カポイント				
		<ul style="list-style-type: none"> 電動車市場に向けた製品開発、自動化 		
		アルミワイヤハーネス・高電圧対応品		

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY24_Q1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	615	731	+116*
営業利益	1	5	+4

【増減益要因】

(+) 製品ミックス等の改善

*銅価・為替変動の影響を含む

(参考)
銅建値平均 円/kg
為替平均 円/米ドル

	FY23_Q1	FY24_Q1
銅建値平均	1,219	1,570
為替平均	137	156

事業環境の認識

>>
FY24_H1
FY24_H2
>>

車載関連需要は堅調

エレクトロニクス関連需要の回復

注カポイント

- 高付加価値製品の拡充と拡販

耐熱無酸素銅条
(パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・極細平角線
(5G通信インフラ用)

高機能製品
(抵抗材等)
- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

FY24_Q1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比
	a	b	b-a
売上高	275	359	+84
営業利益	7	34	+26

【増減益要因】

(+) 生成AI・HDD関連製品の売上増

事業環境の認識

>> FY24_H1 FY24_H2 >>

スマートフォン・パソコン関連製品需要の緩やかな回復

HDD関連のサプライチェーン上の在庫調整は想定より早い解消

生成AI関連投資の活況継続

注力ポイント

- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の拡販継続
 - 半導体製造用テープ
 - 高機能放熱・冷却製品
 - HDD用薄型アルミblank材
 - 高周波基板用銅箔
- 生成AIや半導体関連製品等の需要増に対応する生産体制の整備

24年度Q1実績-要約B/S

(単位：億円)	FY23末*	FY24_Q1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	5,178	5,327	+149
現金及び預金	489	435	▲ 54
受取手形、売掛金及び契約資産	2,457	2,481	+24
棚卸資産計	1,836	2,002	+166
固定資産	4,672	4,402	▲ 270
有形固定資産	2,786	2,817	+31
無形固定資産	203	199	▲ 4
投資その他の資産	1,683	1,386	▲ 297
資産合計	9,850	9,729	▲ 121
流動負債	4,009	4,173	+164
固定負債	2,259	2,159	▲ 99
負債合計	6,268	6,332	+65
株主資本	2,849	2,606	▲ 243
その他の包括利益累計額	434	484	+50
非支配株主持分	299	306	+7
純資産合計	3,582	3,396	▲ 186
負債・純資産合計	9,850	9,729	▲ 121
自己資本比率	33.3%	31.8%	▲ 1.5
NET有利子負債	2,841	2,877	+35
NET D/Eレシオ	0.87	0.93	+0.06

棚卸資産 166億円 増加
 (為替・銅価の影響： +68億円を含む)
 将来売上計上予定のプロジェクト・工事案件等 (FY23末比 43億円増加)

有形・無形固定資産 27億円 増加
 設備投資・減価償却費の影響： ▲ 22億円
 為替影響： +52億円
 除売却等： ▲ 3億円

投資その他資産 297億円 減少
 投資有価証券： ▲ 303億円
 ※主にUACJ株式保有区分の変更(関連会社株式 → 一般株式)

資産合計 121億円 減少
 連結範囲等の変動の影響： ▲ 305億円 ※主にUACJ
 為替影響： +156億円

株主資本 243億円 減少
 利益剰余金： ▲ 243億円 ※主にUACJ株式売却

その他包括利益 50億円 増加
 その他有価証券評価差額金： +110億円 ※主にUACJ株式時価評価益
 為替換算調整勘定： ▲ 56億円

*「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等」の変更によりFY23実績値をリステイト(Appendix参照)

設備投資額・減価償却費・研究開発費

■ 通期予想は据え置き

《2024/5/13公表》

(単位：億円)	FY23_Q1	FY24_Q1	前年比	FY23	FY24 予想	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
設備投資額	85	69	▲ 16	390	480	+90
減価償却費	95	101	+7	390	410	+20
研究開発費	64	64	+1	245	260	+15

事業ポートフォリオ最適化の取組み

グループ横断的な組織再編の概要	完了時期	主な目的
<p>光ファイバ・ケーブル事業のグローバル 持株会社設立*</p> <p>*傘下の事業会社： 新設法人(日本)・OFS(米国)・FEL(ブラジル)</p>	2025年4月	<p>収益改善 → 成長戦略</p> <ul style="list-style-type: none">各地域の事業特性や強みを活かした事業運営の効率化とシナジーの深化、グローバル事業機会の獲得
<p>メタル電線事業の古河電工産業電線 (株)への統合*</p> <p>*統合の対象： 当社・理研電線(株)・岡野電線(株)の一部、(株)KANZACC</p>	2025年10月	<p>事業ポートフォリオ転換 → 収益改善</p> <ul style="list-style-type: none">事業運営の効率化市場競争力ある製品群への特化
<p>古河電池(株)の株式譲渡とパートナー 企業を通じた蓄電池事業への再出資</p>	2025年4月 (見込み)	<p>事業ポートフォリオ転換 → コーポレートガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none">ベストオーナーによる古河電池(株)の成長発展親子上場の解消

ご清聴ありがとうございました

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



補足資料 - Appendix

- 24年度からの変更点 -B/S-
- セグメントと事業部門

Appendix 24年度からの変更点 -B/S-

■ 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の変更

上記変更に伴うFY23実績のリステイト

(単位：億円)	FY23末	
流動資産	5,178	5,178
現金及び預金	489	489
受取手形、売掛金及び契約資産	2,457	2,457
棚卸資産計	1,836	1,836
固定資産	4,672	4,672
有形固定資産	2,786	2,786
無形固定資産	203	203
投資その他の資産	1,683	1,683
資産合計	9,850	9,850
流動負債	4,009	4,009
固定負債	2,261	2,259
負債合計	6,270	6,268
株主資本	2,847	2,849
その他の包括利益累計額	434	434
非支配株主持分	299	299
純資産合計	3,580	3,582
負債・純資産合計	9,850	9,850
自己資本比率	33.3%	33.3%
NET有利子負債	2,841	2,841
NET D/Eレシオ	0.87	0.87
ROE	2.1%	2.1%

Appendix セグメントと事業部門

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	ファイバ・ケーブル
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		